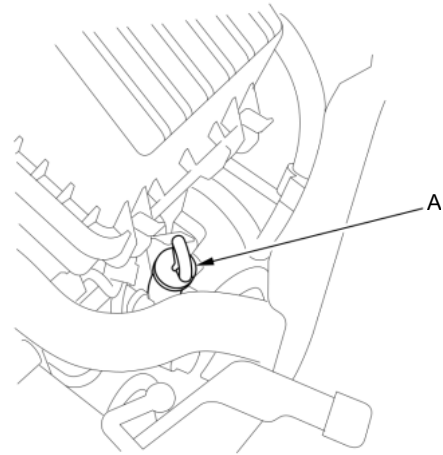
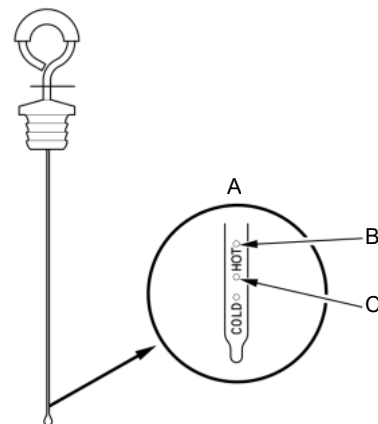


## トランスミッション フルード (HMMF) の点検

1. 車両を水平な場所におき、エンジンを始動する。
2. ラジエータ ファンが1回作動するまで暖機運転を行い、エンジンを止める。  
**知識** トランスミッション フルード量の点検は、エンジンを止めた後60秒から90秒の間に行うこと。
3. レベル ゲージ (A) を外してきれいな布などでふいて戻し、再度レベル ゲージを外してトランスミッション フルード量を点検する。



4. レベル ゲージ先端 (A) HOTゲージでトランスミッション フルード量がアッパ レベル (B) とロア レベル (C) の間にあるか点検する。
  - アッパ レベルより多い場合は、ドレン ボルトを外してトランスミッション フルードを抜く。トランスミッション フルードを規定量にする。
  - ロア レベルより少ない場合は、フルード漏れなどの異常がないかを点検する。異常がある場合は修理を行う。



5. 補充が必要な場合は、指定のHonda純正ウルトラ HMMFをレベル ゲージ パイプの開口部 (A) から注入し、レベル ゲージのアッパ レベルとロア レベルの間まで補充する。

### アドバイス

トランスミッションの中にごみなどが入らないように注意すること。

